

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

クラウドを活用し、リアルタイムに思考を可視化する工夫

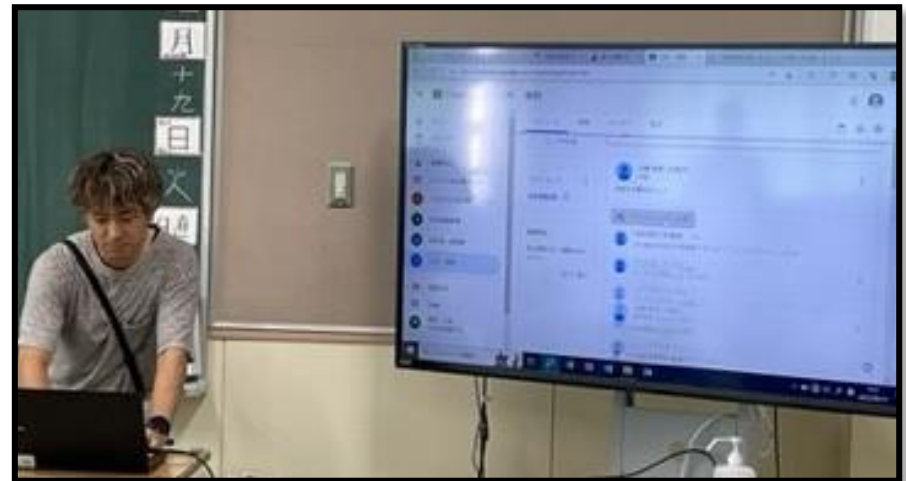
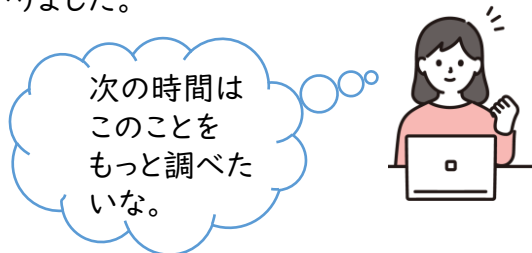
Jamboardを活用し、互いの意見を常に共有

思考を可視化するために、Jamboardを活用しています。例えば、5年 特別の教科 道徳では、友だちの考えと比較しながら、自分の考えを振り返ることで、新たな気づきをもとに学びを深めることができました。



Google Classroomのストリームで振り返り

学習を振り返る際も、ストリームに投稿することで、互いの気づきを共有できるようにしています。例えば、3年算数「あまりのあるわり算」では、児童が投稿した個々の”まとめ“をもとに、次時の課題について見い出すことにつながりました。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立東粉浜小学校（大阪市）

## 【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた協働学習支援ツールの活用

協働学習支援ツールをもとに、個人の学びをグループや学級の学びとして深める工夫

## Google スライドを活用し、共同編集

個々に調べたことをもとに、グループで1つのスライドを作成する学習は、様々な教科で取り組んでいます。5年国語「和の文化について調べよう」では、個々に調べたことをもとに適宜役割分担をし、グループで共同編集をしながらスライドにまとめました。

和服の歴史の資料はこれがいいね。



## Google Classroomを活用した協働的な学び

学習に関わる話題をストリームに投稿し、児童一人ひとりの考えを共有することで、互いの発見から課題を見出すようにしています。例えば、6年理科「水溶液の性質」では、意見交流をもとに行った実験の結果をグループで表にまとめ、次の時間の考察に活かしました。

それぞれの実験結果から考えると…





## リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立東粉浜小学校（大阪市）

## 【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を支えるルーブリックの共有」

クラウド上にルーブリックを共有することで、学びの自己調整を習慣化

## 5年 国語「和の文化を受け継ぐ」

## 事前準備として・・・

- ① 本文を一読し、単元目標を話し合っ決定
- ② 「単元のゴール」としてGoogle Classroomに共有
- ③ 毎時間の振り返り用にクラウド上にルーブリックを共有

## 児童の反応



単元のゴールは、「ALTの先生に日本の文化をわかりやすく伝える」だったね。一目で見て伝わるような資料を選んでいこう！

## 単元のゴールでは・・・

作成したスライドをもとに、ALTの先生へ伝える発表会を開きました。発表会后、個々の振り返りをスプレッドシートに記入する際は、「作り方の様子が写真と一緒に表に整理されていてわかりやすかった」など単元の目標に応じて焦点化された感想につながりました。



## 授業ではGoogle Classroomを効果的に活用

## 1 単元の目標をいつでも確認

友だちやALTの先生に、伝えたい内容が明確になるように伝える、スライドの構成と説明に必要な資料を検討する、という単元のゴールをクラウドで共有します。



## 2 スライド作成の指標として参照

単元の目標や、評価の視点をルーブリックとしていつでも確認することができるので、課題を明確にして学習を進めることができます。他の班のスライドを参照することもできるので、互いの成果物が見本となり、学習に見通しをもつこともできます。



## 3 振り返りによる自己調整

子どもたち一人一人の学びの振り返りを継続して行うことができました。



## 【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

クラウドを活用し、様々な教科で家庭学習を充実



## 夏休みの課題でも端末を使った家庭学習

夏休みには、児童が撮影した写真や動画をスライドでまとめる課題に取り組みました。例えば、6年生の家庭科では、各家庭で工夫している暑さ対策や、朝食づくりを共有することで、夏休み中でも互いの学びの手立てとなりました。



自分も次回  
やってみよう!

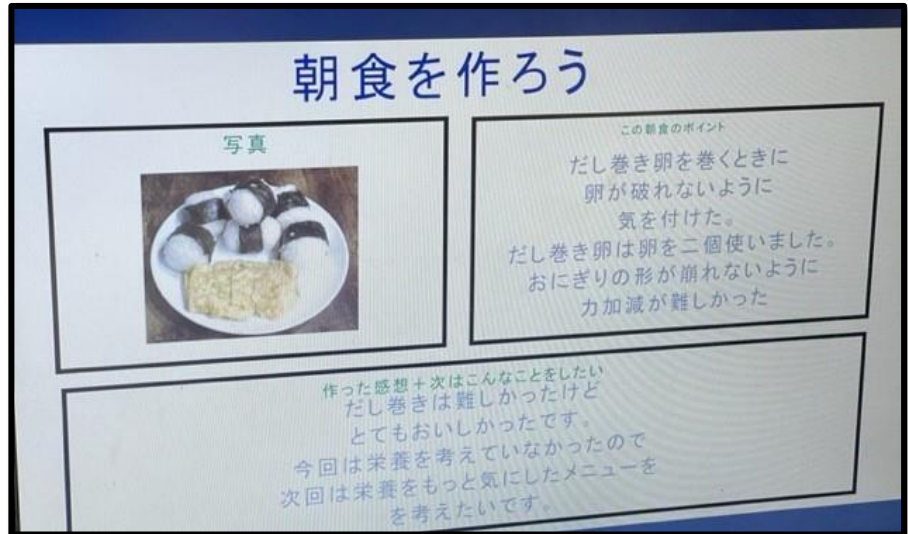


## リコーダー演奏動画の提出

見本の動画を共有することで、児童は楽曲のリズムや運指の様子を、繰り返し視聴することができます。児童は、練習の成果をクラウド上に提出し、指導者も効率的に評価できます。児童は、クラウド上に共有した資料をいつでも参照できます。



自分の手の動き  
が見やすくなって  
わかりやすい。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立東粉浜小学校（大阪市）

## 【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

TeamsのReading Coach機能を活用し、音読の家庭学習を充実

## T 日常的な持ち帰りに向けて、連絡帳をデジタル化

連絡帳と翌日の予定をクラウド上で共有しています。予定だけでなく、学習内容や宿題も確認できるので、対面授業に参加した児童の振り返りに役立つとともに、欠席した児童も本日の学習内容や課題を確認することができます。



今日の宿題は漢字ドリルの・・・。  
あ、明日は体操服があるのね。



## T 「Reading Coach」機能を活用した音読課題

音読課題を、Teamsの「Reading Coach」機能を活用して取り組むようにしました。工夫があった音読は学級で紹介し、友だちの音読を聞く経験を通して、読む速さや強弱、声の高低や抑揚といった音読による表現の幅を広げることにつながりました。

読む速さに気をつけて、もう一度読んでみよう！





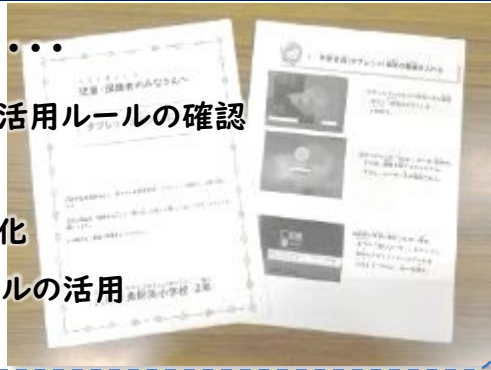
【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

日常的な持ち帰りに向けた取組

めざせ！ 夏休みの全学年端末持ち帰り

事前準備として・・・

- ① 児童に対する端末活用ルールの確認
- ② 保護者への周知
- ③ 連絡帳のデジタル化
- ④ 協働学習支援ツールの活用



児童の反応



端末を持ち帰って宿題が楽しくなったな。音読ですらすら上手に読むことができるように頑張りたいな。

新学期に、長期休業中に取り組んだ課題を伝え合う際は・・・

共有された資料は長期休業中も自分のペースで自由に閲覧できるので、新学期の発表会の際も、質問や感想が生まれやすくなります。手を挙げて質問するだけでなく、チャットも併用することで、児童一人一人のアウトプットの機会を保障することができます。



日常的な持ち帰りに向けたスモールステップ

**1** まずは連絡帳から  
連絡帳をTeamsのチャットで共有するところから始めました。連絡帳記入に関する時間を省略することができました。



**2** 音読もデジタルに  
どの学年でも共通課題として取り組んでいる音読の宿題をTeamsのReading Coach機能を使って取り組むようにしました。



**3** 日常的な持ち帰りへ  
夏休みには、調べ学習やデジタルドリルなど、全学年が学習者用端末を持ち帰り、デジタル課題に取り組み、2学期以降の日常的な持ち帰りにつながりました。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立東粉浜小学校（大阪市）

## 【取組内容④】 校務の徹底的な効率化につながる対話的・協働的な職員会議・職員研修

クラウドを活用し、伝達講習や資料共有を効率化

## T クラウドを活用し、資料共有を効率化

クラウド上で、学級担任と教科担当の資料を共有します。例えば、理科では、予備実験の動画や、委員会活動で育てた植物の写真、ワークシート、児童の活動の記録などを共有しました。近隣校の担当者との連携も進めています。



## T 研修会はオンライン参加で負担軽減

研修会や、他都市への視察をもとに、指定校3校合同の研修会を開催しました。オンライン参加を可能とすることで、教職員の負担を軽減し、資料の配布も容易となりました。



名前

考察

問題 日によって、月の形が変わって見えるのは、月と太陽の位置と関係があるのだろうか。

計画 月に見立てたボールと、太陽に見立てた電灯を使って調べる。  
ボールの位置を動かして調べる。

考え

まとめ





## リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立東粉浜小学校（大阪市）

## 【取組内容④】チャットとクラウド環境を活用した対話的・協働的な教員研修

リアルタイムに取組の価値を伝え合うとともに、教員が共同編集や他者参照のよさを体感

## 日常的に教材を「研修用」クラスへ保存

## ICT活用研修会（1月）では・・・

- ① 学年ごとに、1年間の取組を発表
- ② コンテンツ別に、活用方法を整理
- ③ Googleドライブより適宜教材を参照・編集・複製
- ④ 発表中もチャットで意見交流

## 教職員の反応



クラウドを活用することで、使ってみたい教材がすぐにコピーできるからありがたいです。あとは自分の学年の子どもたちに合わせて、編集するだけで使えますね。

他者参照により、子どもたちがお互いの考えや作品のよさをもとに、自分の考えや作品に活かしている他学年の取組が印象的でした。ぜひ取り入れたいですね。



4 司会者が時折チャットの内容に触れ、方向性を共有するとともに授業中の児童の状況を体感

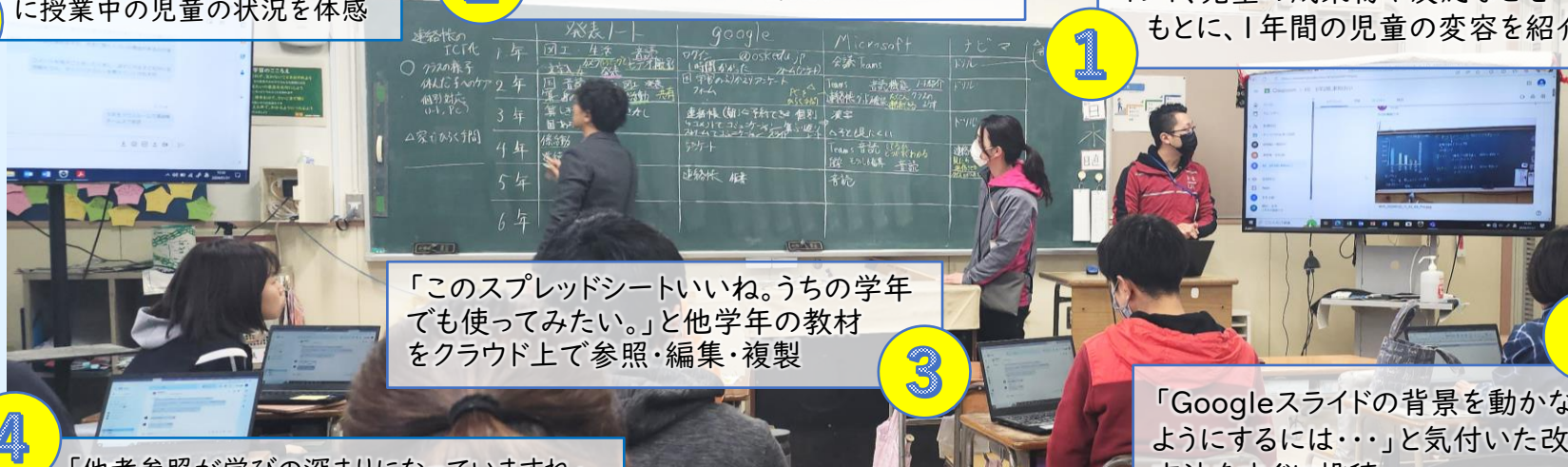
2 GWSやM365、デジタルドリルなど、コンテンツごとの有用性を整理

1 使用したコンテンツや教材作成時のポイント、児童の成果物や反応などをもとに、1年間の児童の変容を紹介

3 「このスプレッドシートいいね。うちの学年でも使ってみよう」と他学年の教材をクラウド上で参照・編集・複製

4 「Googleスライドの背景を動かないようにするには・・・」と気付いた改善方法をすぐに投稿

4 「他者参照が学びの深まりになっていますね」など、発表をもとにチャットで相互に価値づけ





# リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立東粉浜小学校（大阪市）

## 【取組内容⑤】 9年間を見通した情報活用能力の育成

情報活用能力

### 目標を明確にし、計画的に中学校進学へ

中学校での活動が円滑に進むように、校下小学校2校の情報活用能力が同程度となるようにしました。具体的に、次の5つを小学校卒業までの達成目標としました。

- ★1 十分な速さで正確な文字の入力
- ★2 クラウドを用いた協働作業
- ★3 複数の表現手段を組み合わせた表現方法
- ★4 効果的なプレゼンテーション方法
- ★5 通信ネットワーク上のルールやマナー

文部科学省【情報活用能力の体系表】（令和元年度版）全体版より抜粋



小学校

中学校

1年生

2年生

3年生

4年生

5年生

6年生

1年生

2年生

3年生

### 小1：4月「端末開き」

6年生が1年生に端末を使うときの注意点や操作方法を伝えます。



### 全校「キーボード入力検定」

目標は、小学校卒業までに、1分間に50文字！入力できた文字数に合わせて昇級も。



### 全校「学習発表会」

SDGsや平和学習など、調べたことをスライドにまとめ、全校児童に発表しました。



### 中2「職場体験報告会」

職場体験を通して感じたことや考えたことを、スライドにまとめて発表しました。



学校行事

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立東粉浜小学校（大阪市）

## 【取組内容⑤】クラウドを活用した小小連携・小中連携

資料の共有やチャットの活用で、学校の枠を超えた意見交流を実現

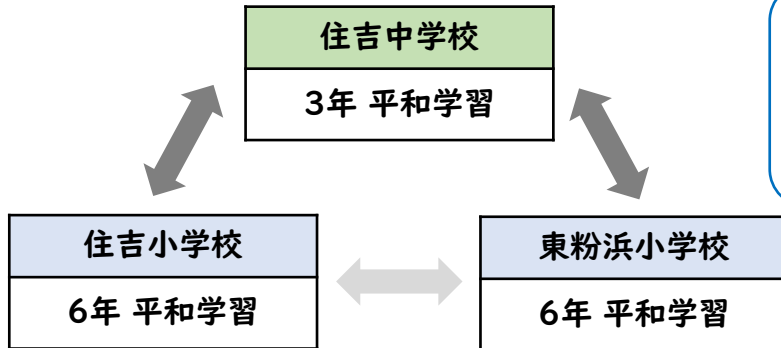
### クラウドやオンライン会議を活用した2校間の交流（小小連携）

住吉小学校	東粉浜小学校
4年 社会「住吉区ハザードマップ」	4年 社会「災害新聞を作ろう」
6年 平和学習「ヒロシマが伝えるもの」	6年 国語「ヒロシマのうた」

⇒他校の様子を知ることにより、お互いの学校の学習活動を充実させる



### 投稿欄を活用した意見交流（小中連携）



### 児童の反応

修学旅行前に中学生のアドバイスを聞いていたおかげで、注意深く見学や観察ができたよ。教えてもらえて嬉しかった。



- ・ 投稿欄を活用し、中学生からアドバイスをもらうことで、小学生は現地での学習が充実したものに
- ・ 小学生にアドバイスすることで、中学生は個々の学びを振り返り、発展的な学びへ
- ・ 投稿体験を通して情報モラルを意識

